

令和3年度 事業系一般廃棄物減量化計画書のまとめ

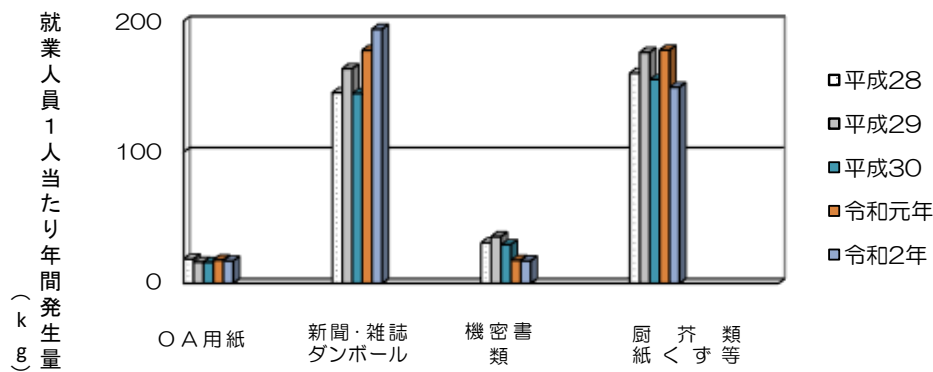
1. はじめに

このまとめは、市内の大規模事業者の皆さまより提出していただいた事業系一般廃棄物減量化計画書に基づいて、令和2年度実績での事業系一般廃棄物の発生状況と減量化・資源化の具体的手法についてとりまとめたもので、事業者の皆さまに今後の廃棄物管理の参考としていただくことを目的として作成しました。

2. 対象及び提出状況

- ◇ 対象事業者数 425
- ◇ 提出事業者数 338
- ◇ 提出率 79.5%

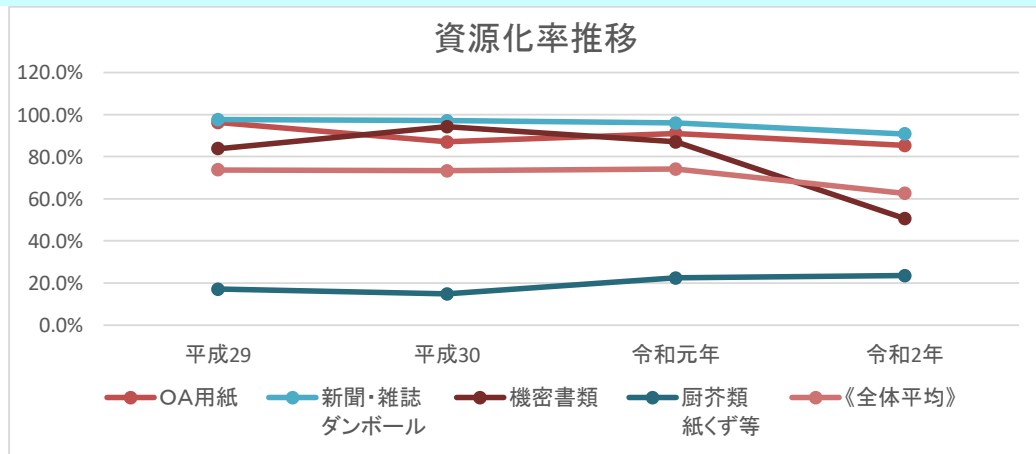
3. 就業人員1人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量の推移



◇ 就業人員1人当たり年間発生量 (kg)

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 合 計 》
平成28	18.5	145.3	30.9	160.2	354.9
平成29	16.1	163.6	35.5	176.1	391.3
平成30	16.0	144.7	29.5	155.4	345.6
令和元年	17.8	177.7	17.6	177.8	390.9
令和2年	17.0	193.8	17.1	149.5	377.4

4. 事業系一般廃棄物の資源化率の推移



◇ 資源化率

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 全 体 平 均 》
平成28	92.4%	91.8%	42.0%	15.7%	60.5%
平成29	96.3%	97.7%	83.8%	17.1%	73.7%
平成30	87.0%	97.2%	94.3%	14.9%	73.4%
令和元年	91.1%	96.0%	87.1%	22.5%	74.2%
令和2年	85.4%	90.8%	50.7%	23.6%	62.6%

5. 減量化・資源化の具体的手法

書類系	<ul style="list-style-type: none"> ◇社員各個人別・課別のコピー用紙使用枚数を把握し不要な印刷物を控える ◇用紙の両面使用・裏紙使用・縮小コピー、メモ用紙として再利用 ◇スキャナ・社内LAN・プロジェクター・テレビ会議を活用し、用紙の使用量を削減 ◇シュレッダー処理後の書類をRPF化する業者で処理、資源化
飲食系	<ul style="list-style-type: none"> ◇食用油の全量回収、燃料として再資源化 ◇生ごみ処理機を使用し自社で堆肥化 ◇廃棄ロスの予算化を行う・売り切り基準を決めるなどによる廃棄食品の発生抑制 ◇堆肥化や飼料化を行う業者で処理
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごみの計量を徹底し、部署別排出量や再資源化量を社内で公開することで意識向上を図る ◇ごみ分別状況パトロールの実施、未分別品などの報告 ◇グリーン購入、リサイクル製品の購入および使用 ◇ISOなどの環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理 ◇レジ袋有料化・マイバッグ運動の実施 ◇EA21（エコアクション21）の推進

6. 優良事業所の取り組み例

名称	従業員数	廃棄物量	資源化率	取組内容
赤塚植物園	114	0.23t/人	85%	エコキャップ運動に参加しています。社内で事務用品等所有者名記載や消耗事務用品有効利用キャンペーンを実施しています。また、社内キャンペーンとして、事務用品等所有者名記載や消耗事務用品有効利用キャンペーンを実施している。
住友電装株式会社 津製作所	1084	0.22t/人	98%	環境分科会・エコクラブを設け、各部署で削減目標を掲げ従業員全員で取り組んでいます。また、用紙の両面使用・メモ用紙として再利用することや、TV会議等を活用することで、配布資料の削減にも取り組んでいます。
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社	215	0.15t/人	100%	分別の徹底による有価物化を推進しています。また、紙類の電子化、コピーの両面使用、コピーの縮小化（2ページを1ページに印刷）、グリーン購入を100%にするのなどの取組を行っています。
グリコマニュファクチャリング株式会社 三重工場	240	1.48t/人	100%	ISO14001認証に基づく廃棄物管理を行っています。また、デジタルサイネージを導入し、ごみ分別の徹底と削減の協力の周知を行っています。今後、行程内不良の削減、注文票・日報・帳票類の電子化による紙類の減量を目指します。

今後とも事業系一般廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事務担当	津市環境部 環境政策課 資源循環推進担当
電話番号	059-229-3258
E-mail	229-3139@city.tsu.lg.jp